

健康社会研究センター ニュースレター 第 12 号

2011. 04. 10 発行

◆ 目次 ◆

- 1 CWS 退職者と新任者紹介
- 2 主な研究成果発表
- 3 その他

1 CWS 退職者と新任者紹介

○2010 年度まで主任研究員として勤務しておりました 2 名の勤務先が変わり、健康社会研究センターを退職いたしましたので、ご報告いたします。

<退職者>

- ・平井 寛 →岩手大学工学部社会環境工学科へ
- ・鄭 丞媛 →韓国保健産業振興院へ

○新しい主任研究員の紹介

- ・三澤仁平 (みさわ じんぺい)

<自己紹介>

この度、2011 年 4 月 1 日より日本福祉大学健康社会研究センター主任研究員として着任しました三澤仁平と申します。

出身は宮城県の南部にある白石市という小さな町ですが、学部以来ほとんどを仙台市に住んでおりました。東日本大震災の影響で、健康社会研究センターに予定どおり着任できるかどうか肝を冷やしましたが、どうにか名古屋に移住することができて一安心しているところです。

簡単に出自を申し上げますと、学部は文学部を卒業し、文理融合を目指した社会理工学研究科という修士を修了し、博士課程は医学系研究科に進みました。御覧の通り、経路はかなり紆余曲折してきましたが、関心は一貫して、健康格差のメカニズムの解明にあります。

健康格差を、どのようにしたら改善できるのか、そしてそのためにはどのような社会環境を構築したらよいのか、が重要な課題であると考えております。このような課題に対応するため、現代社会における社会経済的な状態と医療制度・システム、健康との関係を詳細に把握し、今後のよりよい健康的な社会のあり方を模索していきたいと考えております。

まだまだ未熟者ではありますが、皆様のご指導を仰ぎながら、日本福祉大学健康社会研究センターの主任研究員としてよい仕事をしていきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2 主な研究成果発表

<論文>

- ① 村田千代栄, 齊藤嘉孝, 近藤克則, 平井寛: 地域在住高齢者における社会的サポートと抑うつに関連: AGES プロジェクト. 老年社会科学 33 (1) -印刷中-
- ② 近藤克則: 特別シンポジウム「社会的共通資本としての看護の役割と責務」基調講演: Well-being (幸福・健康) と社会的共通資本—イギリスからの示唆—. 日本医療・病院管理学会誌 (95) -印刷中-

<講演・シンポジウム等>

- ① “Social epidemiology-The potential and challenges of the JAPAN Gerontological Evaluation Study (J-AGES) project” International Symposium, Nihon Fukushi University, Japan, 2011.3.17
Ichiro Kawachi: Why behavior interventions often end in failure?
Naoki Kondo: Relative deprivation and all-cause, cancer, and cardiovascular deaths in Japanese older adults: 2003-2007 AGES cohort
Hisashi Imai: Physical and mental health, social relationships, social capital, and happiness among Japanese adults
Miyo Nakade: Relations between BMI and cause specific mortality in Japan: AGES cohort
Satoru Kanamori: individual versus organizational participation in sports as predictors of long-term care in older Japanese
- ② 近藤克則: 社会的健康格差を正す. 石川県保険医協会定期総会記念講演, 2011年3月12日(土), 金沢都ホテル7階飛翔の間
- ③ Katsunori Kondo: Social Capital and Successful Aging Society
2011 International Conference on Successful Aging, Yonsei University, Seoul, Korea, 2011.4.8-9

<マスコミでのコメントなど>

- ① 「中居正広の怪しい本の集まる図書館」テレビ朝日, 3月21日放送 19:55-21:48
にて、「認知症にまつわる怖いウワサ」として, AGES 成果 (入れ歯を使わず歯がほとんどない人は歯が20本以上ある人に比べると約2倍認知症になりやすい) を紹介.
- ② 「地域全体で健康になる方法模索」, 日本歯科新聞 (第1688号), 2011年3月23日

3 その他

- ・次回以降 JAGES・AGES 研究会
4月研究会
【日時】 2011年4月16日(土) 10:30-17:00
【場所】 日本福祉大学名古屋キャンパス7B会議室
5月研究会
【日時】 2011年5月15日(日)
【場所】 東京(調整中)

※お知らせ: 前号掲載の第28回日本医学会総会(東京)は, 中止となりました.

ニューズレター第12号の発行にご協力いただきましてありがとうございました.

今後とも当センターへのご支援をよろしく願い申し上げます.

メーリングリストの配信の停止をご希望の方・ご意見・お問い合わせはこちら<k-manami@n-fukushi.ac.jp (泉)>までお知らせください.

ニューズレターのバックナンバーはこちら<[バックナンバー](#)>

発行元: 健康社会研究センター <http://cws.umin.jp/>

(このメールは, 国際シンポジウム「健康の社会的決定要因-社会疫学の可能性」(2009年3月14日開催)にてメール登録をご希望いただいた方及びメーリングリストweb登録をいただいた方に配信しています)